

幼児と表現(音楽)

科目ナンバリング ESS-117
選択 2単位

田崎 教子

1. 授業の概要(ねらい)

幼児は日常生活や遊びの中で、自由にイメージを膨らませ、豊かに表現する。保育者には、そのような幼児のあるがままの姿を捉え、「表し」に気づき、「表し」の内側にある心を感じ取る力が必要である。また、時には表現の「モデル」となって発信する力も必要である。

本授業では、領域「表現」のねらいと内容の中で主に音楽表現に焦点をあて、保育者に必要な音楽的知識を学ぶと共に、それらを実践的な活動に活かせる力を身に付ける。

2. 授業の到達目標

- 1) 領域「表現」のねらいと内容について理解する。
- 2) 領域「表現」のうち、音楽表現に関わる基本的な音楽理論を理解する。
- 3) 基本的な音楽理論を用いて、様々な音楽表現が展開できる力を身に付ける。

3. 成績評価の方法および基準

- | | |
|------|-----|
| ①発表 | 60% |
| ②提出物 | 30% |
| ③平常点 | 10% |

4. 教科書・参考文献

教科書

田崎教子編著 『誰でも弾けるこどもの歌50選』 ドレミ楽譜出版社

参考文献

文部科学省 『幼稚園教育要領』(平成29年3月告示) フレーベル館

厚生労働省 『保育所保育指針』(平成29年3月告示) フレーベル館

内閣府 文部科学省 厚生労働省 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(平成29年告示) フレーベル館

5. 準備学修の内容

活動によって、自宅での練習を必要とするものがあります。十分に練習をして臨んでください。

授業内容により、教材、教具を必要とする場合があります。予め準備をして臨んでください。

6. その他履修上の注意事項

グループワークを行う際は、積極的に活動に参加し、協調性をもって臨んでください。

7. 授業内容

【第1回】	授業ガイダンス、シラバス説明 領域「表現」のねらいと内容について	オンライン授業
【第2回】	「表現」から「音楽科」への連携・接続について 音楽理論の確認テスト 子どもの歌を歌う①	対面授業
【第3回】	「表現」における音楽表現とは 子どもの歌を歌う②	対面授業
【第4回】	幼児用楽器について 子どもの曲を奏でる①	対面授業
【第5回】	幼児用楽器の奏法について 子どもの曲を奏でる②	対面授業
【第6回】	音楽と言葉の関わりについて① ボイスリズムに親しむ	対面授業
【第7回】	音楽と言葉の関わりについて② ボイスリズムアンサンブルの創作	対面授業
【第8回】	音楽表現を伴うグループ発表(1)	対面授業
【第9回】	子どもの曲をアレンジする① 替え歌について	対面授業
【第10回】	子どもの曲をアレンジする② 合奏曲について	対面授業
【第11回】	総合的な表現活動の展開 グループ活動	対面授業
【第12回】	総合的な表現活動の展開 グループ活動	対面授業
【第13回】	保育者による発信的な音楽表現 グループディスカッション	対面授業
【第14回】	子どもの音楽表現に対する応答的な援助	オンライン授業
【第15回】	音楽表現を伴うグループ発表(2)	対面授業